

学校名	狭山市立堀兼中学校
本校児童会生徒会は、「さやまっ子の誓い」を 承認します ・ 承認しません	
本校のいじめ防止に関する実践 令和6年度生徒会スローガン Color 今年度は Color という目標を立てて活動してきました。Color は色という意味です。生徒会本部は個性を色に例え、ひとりひとりが自分の個性を大切にし、周りの人も相手の個性を尊重してほしいという意味を込めました。 学級目標発表会 6 月の生徒総会では、今年度の生徒会の活動方針・各委員会の活動報告・活動案を発表、承認しました。また「クラスがよくなれば学校がよくなる」の理念のもと、各学級が決めた学級目標を発表、学校全体で共有しました。各クラスの「Color」があふれた、素晴らしい目標を多く見ることができました。この学校には様々な個性を持った生徒がいることを改めて知る機会となったと思います。 クラスの花と認め愛の木について いじめ 0 に向けての取り組みとして、「クラスの色」をイメージして花びらに色をつける活動を行いました。一つのクラスの中にも様々な感じ方をしている人がいること、様々な色が集まってクラスという集団になっていることを可視化しようという試みです。色づけは 5 月と 10 月に行いました。半年の間でまったく違う色になっているかもしれません。様々な色をしているかもしれません。どんな花の色になったとしても、その花を認められる、受け入れられるクラスになっているか、という中間地点での振り返りも兼ねています。    	

認め愛の木は、1学期を終え、クラスの仲間の様子がわかってきた2学期に、クラスの仲間の良いところを葉っぱに書くという活動でした。誰にでも「その人の良さ」があるはずです。良いところを探すことで、「クラスの仲間を理解すること」、「受け入れること」に繋がると考えました。廊下に設置し、通りすがった誰もが見返せるようにしました。



今後について

人間関係というのは人と関わるうえで避けて通れないものです。その人間関係を構築するのが上手な人もいれば苦手な人もいます。馬が合う人もいれば合わない人もいます。そんないろいろな個性を持った人たちと共に生活をしていくというのが学校です。些細な事、小さなことからいじめというものが発生してしまうかもしれません。

堀兼中学校では「Color」をスローガンに掲げ活動してきました。個性を大切にしたいという思いのもとです。個性を出した結果、ほかの個性とぶつかってしまう。どちらの個性も大切にしたい。そこで行ったのが上述のクラスの花や認め愛の木でした。お互いのことを認め合うこと、リスペクトしあうことが重要であると考えました。お互いの個性、違いを認め合うことがいじめゼロへの第一歩であると思います。

今後の生徒会では、「挑戦」を大切に活動をして活動していきます。挑戦についても、リスペクトがキーワードとなってきます。誰かが挑戦しようとしたとき、リスペクトを欠いた心無いひと言が飛んできたとしたら。その挑戦は終わってしまうかもしれません。本来得られたはずの経験を得られず、成長にもつながりません。いじめゼロという目標に向かっていくにあたって、僕たちは学校として成長していかなければいけません。リスペクト＝認め合いを基盤として、学校として挑戦し成長していけるよう、生徒会本部一同頑張っていきます。